



一般社団法人 都城国際交流協会会報
MIA NEWS
 ミア ニュース

～協会からのお知らせ・インフォメーション～

◇第13回ワールドフェスタ in みやこのじょう
 2025を開催しました

2025年1月26日に都城市総合文化ホールで、第13回ワールドフェスタ in みやこのじょう2025を開催しました。

当日は、1200人を超える来場者があり、アメリカ、イギリス、オーストラリア、韓国、キルギス、中国、デンマーク、ドイツ、モンゴル、ベトナム、フィリピンの11か国とJICA(国際協力機構)がブースを出展しました。ブースでは、写真展示をはじめ、お茶やお菓子の試飲試食、民族衣装の試着、ゲームや伝統的な遊び体験、塗り絵・工作などのコーナーが設けられ、外国の人々と交流をしました。

5年ぶりに開催したステージでは、外国の歌やダンス、吹奏楽演奏を披露していただきました。

お忙しい中、ワールドフェスタにご来場いただきました皆様、イベントにご協力をいただきました出演者の皆様とスタッフの皆様方に深く感謝を申し上げます。



～〈国際理解講座〉～
セスさんのアメリカ料理教室
参加者募集！

アメリカの国際交流員セスさんによる料理教室を開催します。セスさんの出身地、ノースカロライナ風のアメリカ料理を作る予定です。

日時： 2025年3月8日(土曜日) 10:00～13:00
 場所： 都城市コミュニティセンター
 メニュー(予定)： 肉料理、マッカンチーズ ほか
 参加費 会員 1,000円 一般 1,500円
 定員： 16人(先着順・会員優先)
 持ってくるもの： エプロン、マスク、筆記具
 申し込み： 2025年2月28日(金曜日)までに、
 電話かメールでお申し込みください。
 申し込み先： (一社)都城国際交流協会
 電話 0986-23-2295
 E-mail mia@btvm.ne.jp



がいこくじん せいかつあんぜんこうりゆうかい
～外国人のための生活安全交流会～
 さんかしやぼしゅう
参加者募集！

みやこのじょうし す がいこくじんしんみん たいしやう しぜん
 都城市に住んでいる外国人市民を対象に、自然
 さいがい そな ごみ ぶんべつ たの べんきやう
 災害への備え、ゴミの分別について楽しく勉強しま
 す。

にち じ ねん がつ にち にちやうび
 日時： 2025年3月9日(日曜日) 10:00～12:00
 ば しょ みやこのじょうしきたべっかん かい きやうゆうかいぎしつ
 場所： 都城市北別館 2階 共有会議室
 さん か ひ わりやう
 参加費： 無料
 てい いん
 定員： 15人
 たい しやう みやこのじょうし す がいこくじん しんみん
 対象： 都城市に住んでいる外国人市民
 こと ば にほんご
 言葉： かんたんな日本語であります。
 つうやく ことば えいご ちゆうごくご もんごるご たがろくご
 通訳の言葉： 英語、中国語、モンゴル語、タガログ語
 つうやく
 の通訳がいます。
 もう こ ねん がつ にち きんやうび
 申し込み： 2025年2月28日(金曜日)までに、
 てんわ めーる もう こ
 電話かメールでお申し込みください。
 もう こ さき いっしや みやこのじょうしがいこくせいこうりゆうかい
 申し込み先： (一社)都城国際交流協会
 てんわ
 電話 0986-23-2295
 E-mail mia@btvm.ne.jp



～中国・成都マラソン大会参加と朋友との再会～

MIA会員 三浦孝道

※先月号の続きです。

マラソンは実に面白いスポーツ、沿道の応援者との距離も近く、見知らぬランナーともすぐに親近感が生まれ、体力の限度まで使って完走すれば自己の達成感も得られます。又、練習も家を一歩出れば、どこでも走れる手軽さや、時間に限定されることもなくマイペースで出来ます。大会に参加すれば交流や繋がりが広がって行く楽しさもあります。

ところで、今回の中国へ渡航は決して順調に進行した訳ではありません。5年間のコロナ禍による渡航制限があり、中国との間に締結されていた「短期観光ビザ免除」が廃止され、ビザの取得が必要で、これが大変でした。幸い、昨年末、条件緩和され、旅行代理店での代行申請が可能になって、結果としては福岡の領事館に行かないで代行取得が出来ました。マラソンのエントリーやこのビザ取得については、都城市国際交流員の張麗霞さんに大変お世話になり、出発することが出来ました。



李彪さん宅で昼食会

もう一つは、飛行機の出発が遅れ、乗り継ぎ便に間に合わず、上海の空港で重いスーツケースを持って右往左往、パニック状態になりかけ、冷や汗をかきました。幸い同じ乗り遅れの日本人(上海の企業駐在で語学堪能な人)に助けて頂き、成都行きの最終便に乗り継ぐことが出来ました。偶然にも、この方も成都マラソンに参加のため成都に行くとのこと、夜遅くに当初予定の空港とは違う遠い空港まで迎えに来てくれた李彪さんの車に同乗し、成都市内までの1時間程はマラソンの話で盛り上がりました。

李彪さん宅に無事到着し、ここに至る辺を振り返ってみて、中国の「車到山前必有路」(車の行く先に山があっても必ず道はある)と言う諺を思い出しました。まさにその通りで

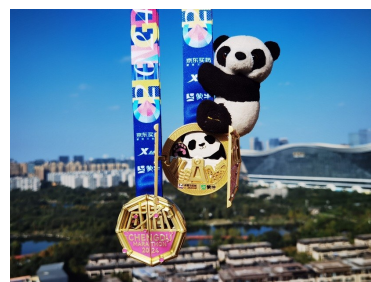
した。

今回の旅行では、たくさん勉強になったことがありますが、一番はスマホをもっと活用出来るよう習熟しておかねばダメだと感じたことです。現地での情報、支払い、タクシー、翻訳アプリの活用等々、とくに翻訳アプリでの会話術(スピードやタイミング)、今回全く言葉が判らない人とも、相手の性能の良いスマホで会話させて貰い、アプリで会話できることを実感しました。中国の人が全てのことをスマホで解決するのを見て、これは‘ドラえもののポケット’だとさえ思っていました。(笑)



大会のTシャツを着たマラソン参加メンバー

マラソンの前後に成都市内の観光や、自宅や友人宅での食事会、名物料理店での食事などの歓待をして頂き、また私達も調味料を持参して、李彪さん宅で日本風味の手料理を作り、皆さんに食べて頂きさらに交流を深めました。今回の滞在中、ずっと我々の行動を静止画と動画に記録し、データを編集したUSBメモリーを李彪さんの奥さんから土産に頂きました。これは一番嬉しい土産となりました。これからもこのスポーツ交流が長く続くことを願って成都から帰国の途に就きました。



マラソン完走メダル



「中国の春節料理」

～都城市中国国際交流員 張麗霞さんによる中国紹介～

中国では、春節(旧正月、2025年は西暦の1月28日)は家族一緒に過ごすことが伝統であり、多くの人々が故郷に帰って両親や親戚と春節を迎えます。

そこで必要になってくるのが春節を迎えるための料理です。中国では昔から、日本のおせち料理と同じで、春節の数日間は食料の買い出しに行ったり料理を作らなくても済むよう、年末のうちから保存の効く料理を準備したりします。

故郷の重慶や隣の四川省でもさまざまな春節料理がありますが、その中で絶対に欠かせないごちそうが、四川風の臘肉(ラーロウ)と香腸(シアンチャン)です。臘



臘肉(ラーロウ) 香腸(シアンチャン)

肉は日本語で「塩漬け干し肉」とでも言えばいいでしょうか。四川風の臘肉の場合は、これを燻製してから干します。そもそも中国語で「臘」は、旧暦12月の別称で、その時期に干したり、さらに燻製した豚肉を臘肉と呼んできた歴史があります。四川風の香腸は腸詰め、いわゆる燻製したソーセージです。四川や重慶では冬になると、家の窓、ベランダ、枝、さらには電柱にまで臘肉や香腸がぶら下がっています。

四川風の臘肉と香腸の特徴は、米糠粕の小枝、オレンジの皮で燻製することです。さらに、豚のスペアリブを塩、胡椒、花椒、白酒、醪糟(もち米を麴で発酵させたもの)などで下ごしら



排骨香腸(パイグウシアンチャン)

えて(追加で唐辛子粉を入れる場合もあります)、腸に詰めて、干して燻製したスペアリブソーセージ「排骨香腸(パイグウシアンチャン)」もあります。

私の家では、毎年、臘肉と香腸を作ります。これは故郷の人々にとって欠かせない新年の儀式です。臘肉と香腸用のお肉は豚肉で、豚バラが一番いいと言われています。香腸の皮の部分は豚の腸です。臘肉と香腸を作る過程は、家庭の温もりや家族の絆の魅力が溢れています。家族が集まり、おしゃべりをしながら作り、喜びを分かち合います。この共同作業によって、臘肉と香腸はおいしい料理というだけでなく、感情や思い出を伝える器にも変わります。

最近は、最初から自分で作ると面倒なので、ソーセージを詰めるのを生鮮市場の肉屋さんに頼んだり、燻しは専門店に依頼したりすることもあります。

大晦日のディナーに、茹でたソーセージを薄くスライスして、家族が楽しむ冷たい前菜として提供されることがよくあります。一方、臘肉は蒸してから薄くスライスして、そのまま食べることもあれば、青蒜(葉ニンニク)や青椒(青唐辛子)と一緒に炒めて食べることもあります。



臘肉(ラーロウ)と青蒜(葉ニンニク)の炒め



「バレンタインデー」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

今回はモンゴルのバレンタインデーの過ごし方について紹介したいと思います。

バレンタインデーの日、花屋の前には男性たちの行列ができ、道には花束を抱えて走る男性の姿がよく見られます!

私は子供の頃、今の若者が惚れ込む「ハロウィン」と「バレンタインデー」などは何をやる行事なのかわかりませんでした。中学生の時、初めて男性の先輩からバレンタインデーにチョコレートをもらいました。その時から、「バレンタイン

デーは男性が好き女性に好意を伝えるためにチョコレートを贈る日」だと思っていました。

現在、モンゴルでは2月14日はさまざまな贈り物を通じて気持ちを伝える日となっています。基本的に、男性が女性に贈り物をする文化です。日本と違って、チョコレートとは限りません。花束やアクセサリー、化粧品などが贈られます!最近では、最新のスマートフォンも!欲しいものなら何でも!

2月14日にはウランバートル(首都)が賑やかになり、レストランも混みます。そのため、外出せずに、彼女や奥さんにバレンタインデーに、手作り料理で日頃の愛情を伝えるエプロン姿の男性も増えました!それ以外にも、誕生日や女性の日など、男性が女性に贈り物をする日がたくさんあります。モンゴルの男性は忙しい(笑)。しかし、最近の若者はお互い贈り合う習慣に変わりつつあります。



最近人気の『ワインをみながらリラックスして、ほろ酔いでキャンパスに絵を描く、アートワークショップ』

編集部より

「鬼は外、福は内」皆さん、豆まきで厄払いされましたか?今年の節分は2月2日でびっくりしましたね。節分は2月3日と思いついたのに、なんと2021年から2057年までは4年ごとに2月2日になるのだそうです。

このことにも驚きましたが、2021年も2月2日だったという記憶が全くない自分にも驚愕してしまいました。

さて、我が家では2日の夕方に慌てて恵方巻を購入し、一口目は西南西の方を向いて頬張り、残りを一気に食べるのはあきらめて、普通にいただいております。

2日はちょうど、日曜日。恵方巻をいただいていると、「サオエさん」のエンディングの歌が終盤に差し掛かり…

「サオエさんは愉快だな～、チャッチャッチャッチャラララ」「わん!!」なんと、我が家の愛犬アニーちゃんが絶妙なタイミングで歌を締め上げるではありませんか!家族で顔を見合わせ、ゲラゲラと大爆笑!!「笑う門には福来る」ですね。 [亀谷]

皆さん、こんにちは。

今回もこりずに『全国行ったつもりでぶらり旅コメント』つづけますよー

-----m(。)m
全国行脚したつもりではじめたこのぶらり旅コメントシリーズもいよいよラスト2県!!!

今回は沖縄県に行ったつもりいー…

実は沖縄県は3回ほど訪れたことがあります。初めて訪れたのは、私が中学生の時なので今から40年ほど前の話になります(@_@;)

宮崎から沖縄へフェリーで向かう「少年の船!?!」というものでした。現地の中学生と交流したり、まだ宮崎にはまだ無かったマンガーを食べたりしました(^ω^)/～～ もちろんビーチで泳いだり、首里城、ひめゆりの塔などを訪れたのを覚えています。

2回目と3回目に訪れたのは大人になってから、飛行機でこの時は国際通りや市場でショッピングしたり、沖縄名物のソーキそばやいろんなチャンプルーを食べたり、泡盛を呑んだり沖縄を楽しみました。あつあつ

あと一回は訪れてみたい場所ですねー(´▽`) (笑) [西畑]

みなさん、こんにちは!

先月末ワールドフェスタに初めて参加してきました。まずは準備から何からして下さったMIAの皆さん、ブースを出して下さった皆さん、ステージ出演して下さった皆さん、ボランティアスタッフの皆さん、お越しく下さった皆さん、MJホールの皆さん、本当にありがとうございました。

会場は活気と熱気に溢れ、沢山の笑みとおしゃべりの弾んでいる声があちこちから聞こえました。

ステージパフォーマンスも圧巻で、観客の方もノリノリで鑑賞して下さったのがとても印象的でした。

改めて、都城市の国際理解の深さと興味・関心の高さを実感したところです。パタパタと過ぎて、どのブースもじっくり見て回れなかったのが、次こそはコソソリとおじやましたいと思います。 [中瀬]

今年は都城で中国の春節(旧正月)を迎えました。初日も仕事でしたが、とても楽しかったです。なぜかという、その日の朝、学校訪問に行く途中、青空に映える雪化粧した高千穂峰を眺められたからです。故郷の重慶市内では、めったに雪が降らないので、私にとって雪は珍しいものです。そして、重慶の冬は曇りや霧ばかりで、ほとんど晴れません。それで、晴れた日に、人々は外に出て日光を浴びます。公園の芝生も、河川敷も人でいっぱいです。ですから、冬の暖陽と雪山は、私にとってとても魅力的な存在です。そのため、学校訪問に行く途中、青空に輝いていて、雪に覆わ

れている高千穂峰を見て、興奮しすぎて、思わず叫んでしまいました。

[れいか]

春雨にバスが来るのか手をつなく セス

日本から遠く離れたアメリカで育った私は、日本映画に自然と触れる機会がほとんどなく、海外で最も名高いとされる日本の映画スタジオ、ジブリの作品でさえ、一度も観たことがありませんでした。

しかし、大人になった今、私はDVDプレイヤーというガイドに導かれ、新たな世界へ足を踏み入れています。新世界、あるいは別世界とはいえ、これ以上に“生きた日本”を表現している映画はないのではないかと、次第に確信するようになりました。

映画を専攻していた私にとって、最も感銘を受けたのは、ほとんど「英雄の旅」の構造に頼らず、それでもなお、私たち(この世の人間)と代わらない儂い日常を見事に描き出していることです。

特に、私の心に深く響いた『おもひでぼろぼろ』と『となりのトトロ』は、この類まれな技術の代表的な作品だと思います。

また、草壁さんのように、子どもの想像力を壊さず、いつだって自分の子の味方になれる父親になるために、自分自身を見つめ直すこともあります。その願いを叶えるために、ジブリ作品のコレクションはまるで教科書のような存在になっています。

では、

ネコバスの輝いている安心させるような眼が近づいてきましたので、次は何を観るかな…

青空やバスの軋む音去つてゆく セス

[セス]

2月上旬に仕事で4日間モンゴルに帰国しました。今回は、ある発見がありました!飛行機が空港へ着陸した瞬間、機長挨拶が終わったときに、自然に大きな拍手がパチパチパチとわき起こったこと!そういえば以前もMIAT(モンゴル航空)が着陸した瞬間に座席から拍手が起きたことが何度かありました…他の空会社の飛行機でも拍手が起きるものでしょうか?

皆さんも、MIATを利用する際に、この瞬間に立ち会えるといいですね!

[ヒシゲ]

ワールドフェスタinみやこのじょう2025へは多くの方にご来場いただきました。今回はステージ発表も含め、久しぶりのフルの開催となりました。ブース展示やステージ発表等、MJホールをはじめ多くの方々のご支援により開催することができました。厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

[藤元]

えびのに家族で雪を見に行きました。東南アジアの人たちも来ていて、薄着でオシャレな靴を履いて写真撮影に勤しんでいました。

雪のため生憎スケートはできなかったのですが、私たちは大きな雪だるまを作ったり、雪玉を遠くまで投げたりした後、近くの温泉の露天風呂に雪降る中に入り、雪を存分に楽しみました。 [迫田]

モンゴルの旧暦のお正月は、今年は例年より遅くて西暦の3月1日です。週末でもあったから、モンゴルのお正月のご馳走であるポーズを作ろうと思っています。ポーズは、好きな肉を挽肉にして、塩コショウ、ニンニク、ネギなどで味付けして、皮に包んで蒸した料理です。肉まんに似ていますが、皮にイーストを入れないだけの違いがあります [ソヨ]